

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	山形県男女共同参画センター	指定管理者	公益財団法人山形県生涯学習文化財団
所在地	山形市緑町1-2-36	県担当課	しあわせ子育て応援部 女性・若者活躍推進課
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	(電話番号)	023-630-3269
検証期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
------	--------------	------------------	--

1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
① 管理・運營業務の履行状況	<p>○新型コロナウイルス感染対策により、事業推進に大きな影響があった。しかし、チェリア塾ほか既に計画していた実施時期を遅らせたり、一部オンラインへの実施変更やチェリアフェスティバルの中止に代えて創立20周年記念事業を実施するなど、様々な感染防止対策をとりながら事業や実施方法を再調整・変更しながら運営し、包括協定書、基準仕様書等に従い、事業計画を適正に執行することができた。</p> <p>○市町村や地域で活動する女性団体等と連携を強化し、山形県男女共同参画推進員や市町村行政も含めた「市民協働」による普及啓発事業の展開を目指して各種事業を進めた。</p>	評価	<p>≪評価の理由≫</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通り各種事業を実施することが困難な中で、一部事業の実施方法をオンラインへ変更するなど、柔軟に対応しながら、適切に業務を執行したものと評価している。</p> <p>○また、地域連携強化事業や女性の人材育成事業等を通して「市民協働」につながる事業展開が行われるなど、評価できるものである。</p>
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	<p>○参加者間等のネットワークの構築と実践力の形成をめざし、ワークショップ等の対面方式を重視してきているが、オンラインの活用など新型コロナ対策との調和をどのように図っていくか引き続き検討・工夫が必要である。</p> <p>○登録団体の高齢化が進み、従来中心的に役割を担ってきた団体の参加状況が低下してきた。一方で、新たな団体・グループの参画も見られ、円滑な新陳代謝を進めるとともに計画的・中期的な連携方策を探っていく必要がある。</p> <p>○市町村の男女共同参画担当は、体制的・予算的に脆弱であることから、県(チェリアを含む)・市町村・山形県男女共同参画推進員等がそれぞれの持つ特性を活かし、地域の男女共同参画促進に向けて総合力を発揮していくことが重要である。</p>	評価	<p>≪課題等の原因分析≫</p> <p>○コロナ下における事業の実施方法について、県内の感染状況を踏まえ、検討・工夫されているところであるが、引き続き、効果的な実施方法について研究していくべきである。</p> <p>○女性の人材育成事業等を通じ、新たな人材の育成を図っているものの、次代を担う人材の育成には一定程度の期間を要するため、継続的に取り組むべきである。</p> <p>○市町村における男女共同参画計画の策定推進への協力を大いに評価する。一方で、計画の推進や男女共同参画施策に係る姿勢や取組みには、依然として、自治体間で温度差がある。</p>
課題、問題点への今後の対応	<p>○コロナ下における効果的な事業の実施方法について、県内における感染状況を踏まつつ、参加者のニーズや他都道府県の事例などを参考にしながら研究していく必要がある。</p> <p>○地域における男女共同参画の推進を担う人材や団体・グループの育成を引き続き行う。</p> <p>○市町村が、関係機関・団体等との連携を一層強め、県が委嘱している山形県男女共同参画推進員の力を活かしつつ、男女共同参画計画の着実な推進や地域の男女共同参画推進の取組みを拡大・強化していく必要がある。</p>		

2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	<p>○アンケートや企画運営委員会での意見等を事業に反映させる仕組みを構築しているが、苦情に類するような意見等は特になかった。</p>	評価	<p>≪評価の理由≫</p> <p>参加者アンケートを実施事業ごとに行っているほか、公募による委員からなる「企画運営委員会」を定期的に開催するなど、センター運営に県民からの意見を取り入れる仕組みとなっている。</p>
意見・要望等への今後の対応	<p>県民サービスの更なる向上に向けて、引き続き、各分野から選定した企画運営委員からの意見等を効果的に反映させるとともに、参加者アンケートの実施等により利用者の意見・要望等を把握し、適切に対応していく。</p>		

3 指定管理者制度活用の効果			
① サービスの向上	<p>○ホームページ情報の適切な更新に努め、サイトアクセス件数の増加を図っている。随時、委託先と打ち合わせを行いながら、全てのリンク先やホームページ内の新旧情報等を詳細に点検し、最新の情報に更新するとともに、閲覧しやすい工夫など充実を図っている。</p> <p>○広報誌「チェリア」の発行に当たっては、外部から広報委員を公募し広く編集に関わっていただき、できるだけ県民目線の意見を取り入れるよう心がけている。</p>	評価	<p>≪評価の理由≫</p> <p>ホームページを活用したオンタイムでの情報発信を行っているほか、年3回発行される広報誌「チェリア」については、外部からの意見を取り入れるなどより良い情報発信を行うための工夫がなされている。また、男女共同参画週間におけるラジオを活用した広報活動など、様々なツールによる幅広い世代への働きかけを行っている。</p>
② 経費の節減	<p>○不要な照明の消灯や昼休みの事務室の節電、メール活用による電話代等の節減、用紙の裏紙利用など経費の節減に努めている。</p> <p>○一部チラシについて外注でなく自前で行うなど節減につとめた。</p> <p>○登録団体への送付物についてはできる限りまとめるなど計画的な配布に努め、運搬経費の節減を図った。</p>	評価	<p>≪評価の理由≫</p> <p>外注印刷やコピー用紙の縮減、物品の在庫整理、節電などにより各種経費の節減を図り、効果的な経費の活用に努めている。</p>
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<p>○県内4地域ごとの男女共同参画を推進するため、チェリア塾修了生を中心としたネットワーク形成に積極的に取り組み、順調に進展している。形成過程では地域の特性に応じてきめ細かく対応し、地域ごとに独自のネットワークが形成されつつある。</p>	評価	<p>≪評価の理由≫</p> <p>各地域の関係機関・団体・市町村に対し積極的に働きかけを行うなど、熱心な取組みを継続的に行った結果、地域ごとにネットワークが形成され、自発的活動の母体となるなど成果がみられる。</p>
総合的な評価	<p>県民参加・協働を重視したサービスの向上が図られ、効果的な事業運営が行われているとともに、県と指定管理者が連携し、適切な管理・運営が行われている。</p>		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。